

# 地域の助け合いで 冬を乗り切る

12月に入り、本格的な雪の季節に突入しました。北区は市内でも降雪の多い地域です。雪は北国ならではの天からの恵みである一方、時には日常生活に支障を来します。そんな中、雪に負けずに日常生活を送ってもらおうと、さまざまな人たちが北区各地で活動しています。

今回は、地域に貢献しようと活動している方々の取り組みを取材しました。

除雪作業をする篠路中学校の生徒の様子



雪出し作業も力を合わせて

雪出し作業も力を合わせて  
「僕たちでも大変な作業でしたから、高齢者の方はもっと大変な思いをされていたのでは」「仲間たちと一緒に地域の役に立ててうれいのです」と話す生徒たちからは、充実感が溢れていました。

「お世話になっっている地域の方に『自分たちができることで恩返しをしたい』という思いが、除雪ボランティアを始めるきっかけになりました」と、話すのは同校の奥村拓教諭。

互いに声を掛け合いながら、玄関先などに降り積もった雪を次々と雪捨て場へ運ぶ若者たち。高齢者宅の前にある大きな雪山をあっという間に片付けていくのは、篠路中学校の生徒たちです。

## 地域へ感謝の恩返し

## 若い力で地域に貢献

（篠路中学校の除雪ボランティア）



あっという間に雪山を片付ける生徒たち

## 感謝の言葉が 新たな刺激に

除雪をしてもらった高齢者は「今年は雪が多く、家の出入りにも困っていました。除雪をしてくれるだけでもなく笑顔であいさつしてくれるのがうれしいです」と、感謝の気持ちを伝えます。生徒たちの活動は地域との交流のきっかけにもなりました。

また、同校に宛てた感謝の言葉が届くなど、地域からのうれしい反応も。奥村教諭は「地域の声に刺激になります。これからも、活動は継続していきたいですね」と話します。



感謝の声が届きました